

防犯活動日記

(H30/6/14 南西部地域振興センター)

今回は朝霞市の緑ヶ丘自主防犯パトロール隊にお邪魔し、お話を伺いました。



■いつ頃から活動されているのですか？

朝霞市で防犯推進条例が制定された翌年の平成17年4月から、自分たちの町は自分達で犯罪防止に努めようと始めました。

緑ヶ丘親交会町内では、全戸対象参加型で、拍子木を鳴らして火の用心パトロールを行う60年の歴史があり、自主防犯パトロール隊も、発足当

時より拍子木を打ちながらのパトロールを行っています。



■防犯パトロールの概要を教えてください

原則毎週木曜日午後3時～4時に朝霞第四小学校の児童下校時間に合わせた見守り活動、第4木曜日午後8時～9時に町内会管理の防犯灯115か所の点検もしながらパトロールを行っています。



その他、地元警察署から不審者情報があり、要請があった場合は、区域外にも随時パトロールを行います。

■防犯活動をしていて何か大変なことなどはありますか？

活動の秘訣ですが、ますます高齢社会となっているため若い人の参加があまりなく、高齢のかたに地域の安全で安心な町づくりに積極的に参加協力していただいています。

最近では、退職後の地域デビューでパトロール隊に参加してくれた方がいます。

■パトロールで良かったことを教えてください！

パトロールをすることで、地域の皆さんから「安心感が高まり、地域の連帯感も高まった」という声が届きます。

パトロール中にも、地域の方々より「お疲れ様」「御苦労様」と声がかかりますし、下校時の子供達も大きな声で挨拶をしてくれます。

また、特にこの地域での犯罪件数が減少していると聞くと、続けてきてよかったと思います。

パトロールを行うことで、地域の様子が良く分かるようになり、人の輪が広くなりました。



本日は、ご協力いただきありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします！